

作成年月日：2021年11月1日

ご報告

久留米大学では、下記研究のために、受診時に患者さんから取得された診療情報等を活用させていただいていますが、本来2018年12月に公開すべき下記の患者様への大切なご案内が、不手際で遅れてしまいましたことをお詫び申し上げます。下記のご案内に該当する方で、ご意見やご不明な点などがございましたら、下記問い合わせまでご連絡ください。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

裂孔原性網膜剥離に対する手術成績と再手術が必要となった因子の検討

【研究責任者（情報の管理責任者）】

久留米大学病院 眼科 嵩 翔太郎

【今回の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2017年4月から2018年12月までの間
- 2) 受診科：久留米大学病院 眼科
- 3) 対象疾患名：裂孔原性網膜剥離に対して手術を行った患者さん

【診療情報等の項目】

診療情報等：病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、手術記事、視力検査結果、各種眼科画像検査データ（眼底カメラ、光干渉断層計）等

【研究目的】

上記の診療情報を使用し、裂孔原性網膜剥離に対する初回手術での治癒率、視力の変化、どのような網膜剥離の場合に再発しやすいかを検証します。

【研究（利用）期間】

研究実施許可日から西暦2023年9月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する情報の管理責任者）：久留米大学医学部眼科学講座 嵩 翔太郎
電話：0942-31-7574